

第3章 第2期計画の基本的な考え方

1 第2期計画の基本理念と目標は？

港南区では、平成18年度から22年度までの5年間、「ふだんの暮らしをシェアに」を基本理念とする第1期計画を推進してきました。

第2期計画でもこの基本理念を継承し、取り組んでいきますが、少子高齢化の進行や一人ひとりの価値観の多様化・複雑化を起因とする地域のつながりの希薄化など、社会状況も大きく変化しています。

それを踏まえ、住み慣れた地域で誰もがふだんどおり安心して暮らすためには、自分の力だけではなく、地域の人と協力し、お互いに支えあうという考え方が欠かせません。

そこで、基本理念に加え、新たに「一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる」という目標を定め、そのために必要な取組を考えていきます。

基本理念 ふだんの暮らしをシェアに

目標 一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる

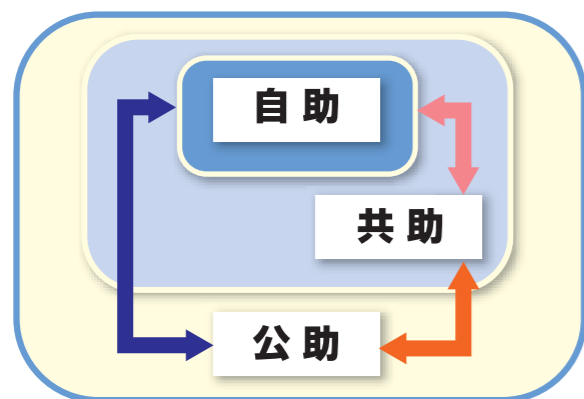
2 お互いに支えあえるまちに必要なことは？

～一人ひとりの主体的な行動が求められます。その上で、自助、共助、公助を組み合わせたまちづくりを進めます～

お互いに支えあうということは、区民のみなさん一人ひとりが支援の担い手にも受け手にもなるということです。必要とされている支援に応えることができる人はもちろん、支援が必要な人も地域との関わりを積極的に持ちましょう。自分でできること、取り組んでいること、考えていることなどの情報を積極的に発信することで、人や活動のつながりが生まれます。一人ひとりが主体的に行動することが必要です。

自分でできることは自分でやる「自助」、隣近所など身近な地域の中で支えあう「共助」、行政機関が行う「公助」をうまく組み合わせることで、お互いに支えあえるまちをつくっていきましょう。

「自助」「共助」「公助」の考え方



自助: 本人やその家族が自分たちでできることは自分たちで取り組みましょう。さらに、日頃から地域とのつながりを持つことも大切です。このつながりが、共助に結びつきます。

共助: 本人や家族だけではできないことを、地域のつながりで支えます。

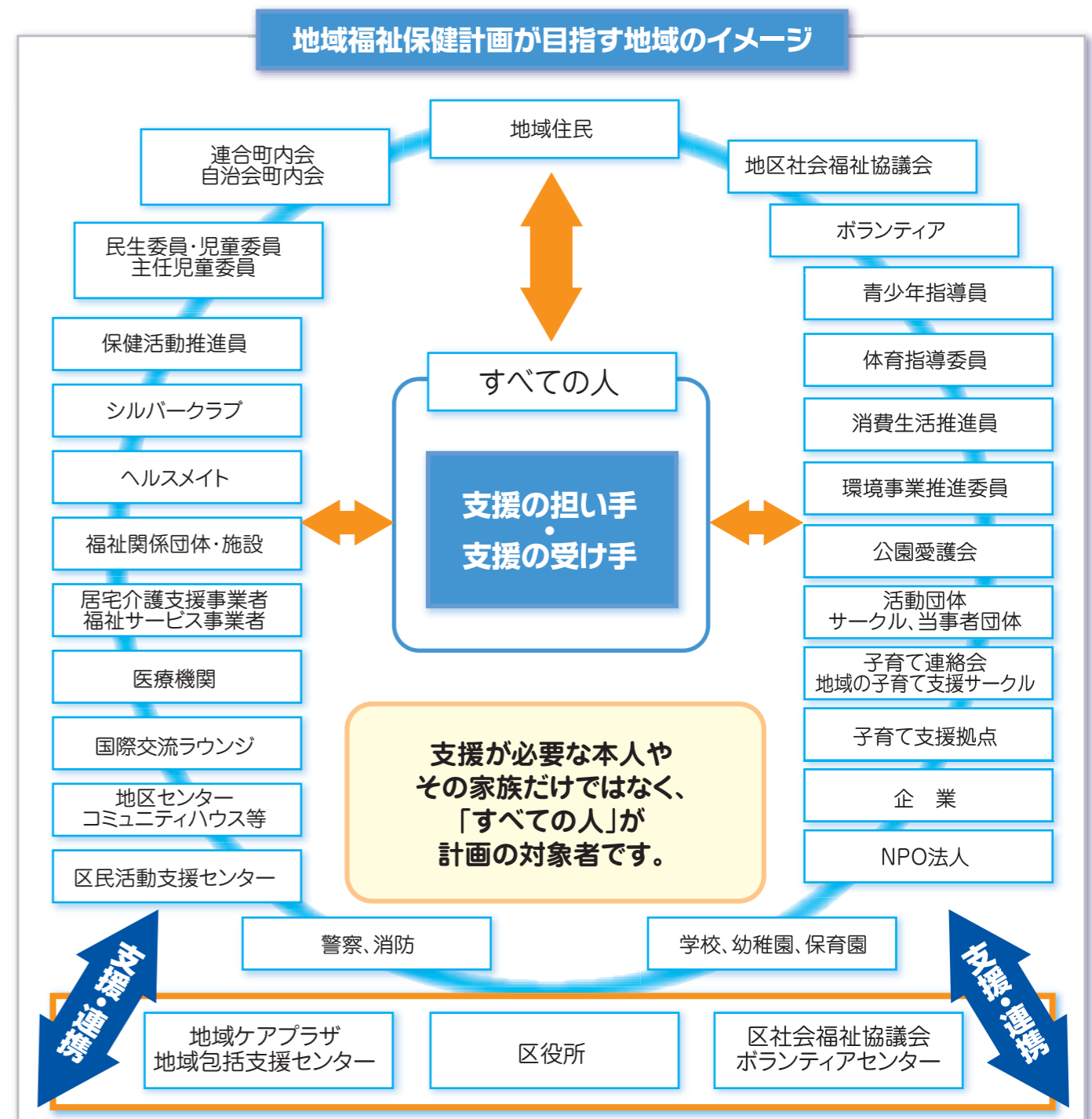
公助: 自助、共助でできないことを公的サービスや制度・仕組みの運用によって支えます。また、地域のつながりづくりを支援します。

3 地域福祉保健計画が目指す地域のイメージ

～すべての人が計画の対象者それぞれの活動をつなげていくことが重要です～

港南区では、様々な人や団体、関係機関が主体となり、多様な福祉保健活動が行われています。

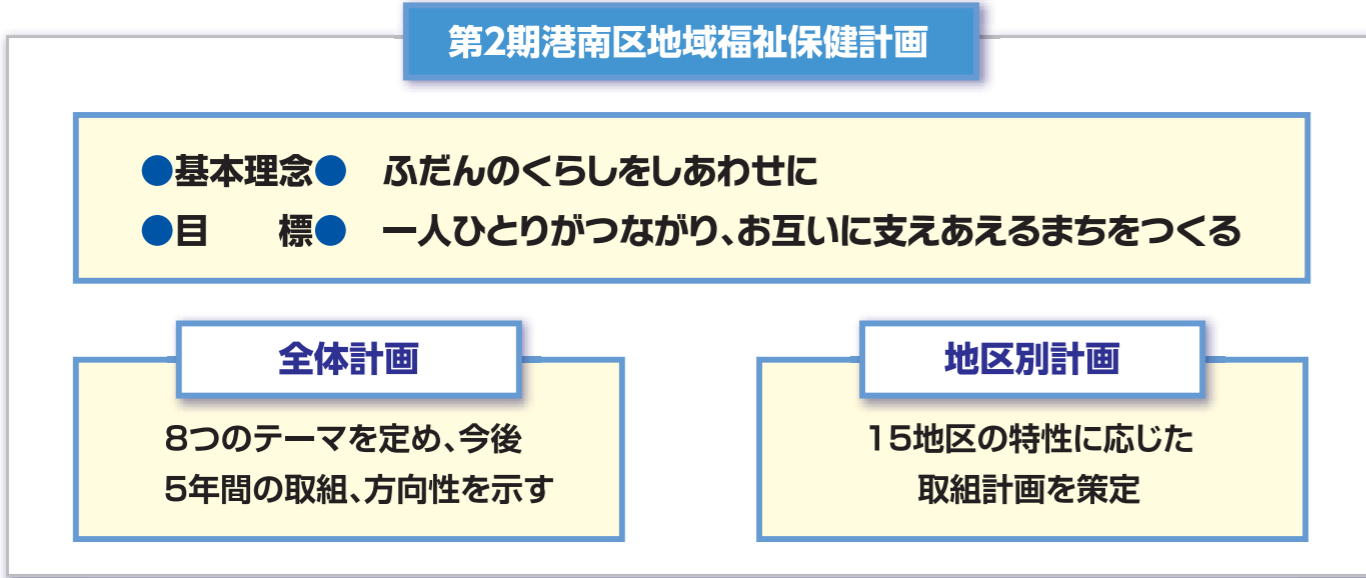
身近な地域を対象にしたものから、関係者のネットワークづくりなど区全体を対象にしたテーマ型の活動など、活動の目的はそれぞれ違いますが、お互いに支えあうために欠かせない「地域のつながり」を生み出しています。計画の対象者は、「すべての人」であり、個人、関係団体、行政等が連携しながら福祉保健活動を継続、充実させるため必要なことに取り組んでいきます。



4 第2期計画の策定に向けて

(1) 第2期計画の構成

第2期計画は、全体計画と地区別計画で構成されます。



(2) 第2期計画の特徴

計画の一体化

第1期計画では、区役所の「地域福祉保健計画」と区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」に基づき、関係団体と連携しながら福祉保健の推進に取り組んできました。それぞれ個別の計画ではあるものの、地域福祉保健の推進という目的は同じであること、また、第2期計画の「一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる」という目標は区役所と区社会福祉協議会の連携が欠かせません。第2期計画では、2つの計画を一体化し、策定・推進にあたっては、両者が事務局となり、福祉保健活動の推進者にとってわかりやすい計画を目指します。

取組主体の明確化

すべての人が計画の主体ということを踏まえ、取組内容に対して「誰が」、「どのような役割を期待されているか、どのような取組を進めていくか」など役割分担を明らかにしています。

地区別計画の策定

第1期計画では、区全体を対象とする取組が中心でしたが、地域の中でお互いに支えあうためには、日頃の生活の中でのつながりが大切になってきます。港南区では、地区ごとの高齢者人口や年少人口の割合、地域活動の内容も異なり、それぞれに特徴があります。

そこで、この地区の特性を活かしつつ、つながりづくりや課題解決を図るため、15の連合町内会(地区社会福祉協議会)エリアで地区別計画を策定しました。

5 第2期計画の策定経過 ~多くの福祉保健活動者の声をもとに策定を進めてきました~

第2期計画は、福祉保健活動団体の代表者による意見交換会や福祉保健施設、福祉保健活動者等に対するアンケートなどにより、活動者が日頃感じている課題や問題点等を伺ってきました。その内容を踏まえ、今後の活動の方向性や取組について地域福祉保健計画策定・推進委員会で議論を重ねてきました。

策定・推進委員会で作成した計画素案に、多くの区民のみなさんの御意見をいただき、第2期計画が完成しました。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
第1期計画		策定	計画推進									
第2期計画							策定	計画推進				

		推進フォーラム、意見募集等	全体計画(策定・推進委員会)	地区別計画
21年度	6月~9月			
	10月~12月		10月 第1回 推進委員会	全15地区での策定
	1月~3月	3月 地域福祉保健計画推進フォーラム	1月 第2回 推進委員会 3月 第3回 推進委員会	3月 地域支えあいネットワーク連絡会
22年度	4月~6月	6月 意見交換会	5月 第1回 推進委員会	各地区の地区別計画の策定や推進に関する状況についての情報交換を行いました。
	7月~9月	福祉保健活動者等に対するアンケート	7月 第1回 策定・推進委員会 9月 第2回 策定・推進委員会	
	10月~12月	12月 素案発表・意見募集	11月 第3回 策定・推進委員会 12月 第4回 策定・推進委員会	各地区の福祉保健活動者が中心となり、地区別計画の策定を進めてきました。このメンバーが中心となり、計画を推進します。
	1月~3月	22年12月21日(火)~23年1月20日(木)まで		
		3月 地域福祉保健計画推進フォーラム	2月 第5回 策定・推進委員会	
23年度	4月	第2期計画スタート		

※21年度までは「区計画推進委員会」、22年度7月から「策定・推進委員会」に名称を変更しています。



地域福祉保健計画推進フォーラム

港南区の福祉保健を推進するために、福祉保健に関する講演会や福祉保健活動の事例発表を毎年行っています。

活動団体同士が連携することで、さらに地域活動が充実する事例の共有や担い手の確保など共通の課題に対する事例を共有することで、港南区全体の地域福祉保健計画の推進を図っています。



福祉保健活動団体の代表者による意見交換会

第2期計画の策定にあたっては、「どのようなことに問題点や課題を感じているか」、「活動団体同士がより連携していくためにはどのような取組が必要か」など、福祉保健活動を行っている人が、日頃の活動をとおして感じていることから、今後の取組の方向性を考えてきました。

民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、食生活等改善推進員、障害者団体連絡会、子育て支援関係団体、ボランティア団体の代表者など、多くの方が集まり、熱い議論を交わしました。

地域支えあいネットワーク

港南区では、第1期計画の策定を契機に、より身近な地域で福祉保健活動を推進していくために、15の連合町内会(地区社会福祉協議会)のエリアごとに、地域支えあいネットワークの設置・取組を進めてきました。地域ケアプラザが事務局となり、区役所、区社会福祉協議会が活動を支援しながら運営を行っています。



永谷地区
地域支えあいネットワークの様子

地域の中で福祉保健活動を行っている団体、グループ、個人が連携を図ることで、住民同士が支えあい、安心して暮らせる地域づくりについて検討、取組を進めています。

地区別計画の策定、活動者の事例発表会、シンポジウム、お役立ちマップの作成、災害時要援護者対策の取組検討など、様々な活動が行われています。